

第28回カリブ諸国連合（ACS）閣僚会議大臣ビデオメッセージ （和文仮訳）

カリブ諸国連合（ACS）加盟国閣僚の皆様。ご列席の皆様。
東京から御挨拶します。日本国外務大臣の林芳正です。

今次 ACS 会議の議長国グアテマラのリーダーシップに敬意を表し、ブ
カロ外相から ACS オブザーバー国である日本に対し温かいご招待を頂
き感謝申し上げますとともに、実際に伺えないことを残念に思います

日本は、中南米諸国との長きに亘る友好関係を維持してきました。

日本は ACS には2017年からオブザーバー国として参加しています。
ACS 加盟諸国は日本と同じく海洋国家であり、自然災害や気候変動の
影響を受けやすいという共通の課題に直面しております。

日本は、これまで、ACS 諸国と防災・気候変動やサルガッサム対策と
いった海洋保全を含む幅広い分野で協力して参りましたし、今後も協力し
て参ります。

現在、国際社会は歴史的な転換期を迎えています。

この転換期において、国際社会を分断と対立ではなく協調に導くという
目標に向け、多様性、包摂性、開放性を尊重し、力による威圧とは無縁
の自由と法の支配を擁護する「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」は
従来以上に重要性を増しています。

FOIP の考え方は、地理的に限定されるものではなく、国際社会におけ
る支持・賛同が広がる中、様々な声を受け入れて柔軟な形で発展してき
ました。

共通の価値で結ばれている ACS 加盟諸国とも、法の支配に基づく自
由で開かれた国際秩序を擁護するビジョンを共有し、その取組の輪を広
げることがを呼びかけます。

私は、本年1月の中南米訪問に続き、今月初旬にカリブ及び南米諸国を訪問しました。中南米・カリブ各国のリーダー達との間で、力による一方的な現状変更の試みを断固拒否し、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を守り抜く強い意志を確認したことを心強く思いました。

閣僚の皆様、私は皆様との連帯を強めること、法の支配を擁護し、地球を守り、共に成長する連帯を深めることが重要と考えます。

日本にとって、ACS 加盟諸国との協力は一層重要性を増しています。皆様と共に、共通の課題に取り組み、連帯の輪を広げるための協力を一層進める決意です。

また、G7議長国として、皆様の声をよく聞き、その後G7での議論に活かすなどして、皆様と共により良い世界を築いていく考えです。

ありがとうございます。Muchas gracias (ムーチャス グラシアス)。

(了)

動画はこちらより